

ロボタクシー

写真:ロイター/アフロ



実用に向けた動きが加速する自動運転タクシー。米アルファベット傘下のWaymoは2025年4月、自動運転のためにデータを集める車両を東京都内で公開。同社の技術を日本の公道に適應させるための車両走行をスタートさせた。

Summary

- AI技術や関連半導体の進化により、自動運転技術が進展し、ロボタクシーの実用化が加速している。
- Waymoの検証では、人間による運転よりも事故率が低いことが示され、安全性の高さが注目されている。
- 自動運転システムを含む、先進運転支援システム市場は2029年に1,250億米ドルを超えると予測されており、関連分野の成長が期待されている。

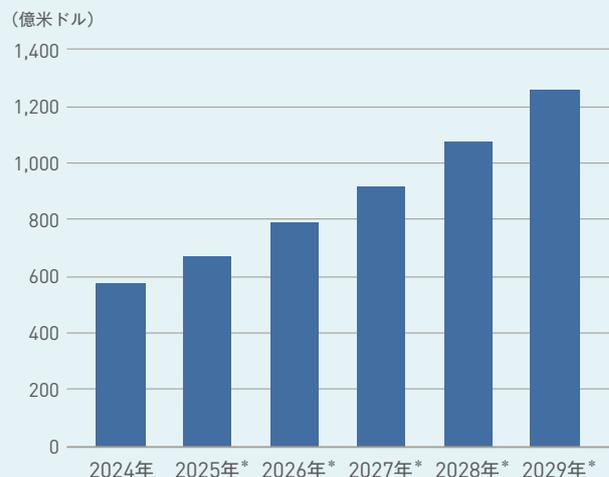
■ 図表1 Waymo車両と人間による運転の
事故率の比較 ~100万マイルあたりの事故件数~



※2025年3月時点。ロサンゼルス、サンフランシスコ、フェニックス、オースティンにおいて、安全運転手なしで自律走行した約7,100万マイルをもとにしたデータ

(出所)WaymoのデータをもとにStatista作成。Statistaより引用

■ 図表2 先進運転支援システムの市場予測



*予測

(出所)Mordor Intelligence, Statista, Statistaより引用